

1. 本年度の重点目標

楽しい学校 ～Happy school life～

2. 自己評価結果及び学校関係者評価

A:大変良い B:良い C:もう少し

A/B/Cの3段階評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	評価内容・改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学 ぶ 力 の 育 成	1 学校は、子どもたちが興味をもち、学びたくなる授業を行っていたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物の提示や既習から学習の見通しを持たせることで、児童一人一人に思いや考えを生む授業を目指した。また、小交流を生かしたり、児童の考えを板書に位置付けることを意識することで、考えを伝えあったり、認めあったりする姿が見られた。次年度も「～したい」を生む教材の工夫を継続して行い、話したい、考えたいが生まれる授業づくりに取り組む。</li> <li>・「朝チャレ」や「算数TT」、「月6TT」「木6TT」等を活用し、基礎基本の定着を図る取組を全学年で行い、成果が見られた。次年度も、基礎基本の定着を図るために、継続して取り組んでいく。</li> <li>・宿題の取組（ねらいや方法など）について教職員全体で確認し、継続して取り組むことで、少しずつ定着しつつある。次年度は、宿題や、家庭学習の意義や取り組みについての情報をさらに保護者へ発信し、宿題・家庭学習のさらなる定着を図っていく。</li> </ul>	A	A
	2 学校は子どもたちが見通しをもったり、「考えたい」「話したい」などの「～したい。」を生んだりする教材の工夫を行っていたか。				
	3 学校は、子ども一人一人の理解や習熟が深まるような学習を行っていたか。				
	4 学校は、家庭と連携した学習の習慣づくりに努めていたか。				
学校関係者 評価者 による意見	○今後も基礎基本の定着へ向けて取り組みを続けていきたいと思えます。 ○改善の方策は大変良い。達成度B評価がAに期待。				
豊 か な 心 の 育 成	5 学校は、挨拶やルールの遵守など、生活の基本となる習慣づくりに努めていたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高学年を中心とする委員会活動等では、積極的に挨拶活動を実施することで、元気のよい挨拶をする児童が増えてきた。今後も、継続して取り組んでいく。</li> <li>・特別な教科道徳の学習を軸として、学校の教育活動全体で、心の教育に取り組んだ。今後も、人との関わりを通して、他者を尊重する態度の育成と豊かな人間関係の構築を図っていく。</li> <li>・担任だけではなく、スクールカウンセラーや担任外教諭への相談の機会を積極的に設けた。今後も継続して取り組んでいく。</li> <li>・「子どもと向き合い一人一人との繋がりを大切にする」「子どもの悩みや困りごとに寄り添う」ことをねらいとして、毎日シャボテンログの回答を確認し、その都度児童の悩み等に寄り添う関わりを行った。また、学校生活アンケートやQU、教育相談週間を実施し児童の悩みや困りの把握と学校全体での解決に向けて取り組んだ。次年度も継続して取り組むことで、児童の悩み等の早期発見、対応に努めていきたい。</li> </ul>	A	A
	6 学校は、特別の教科「道徳」の学習などを通して、心の教育に努めていたか。				
	7 学校は、不安や悩み困りごとについて、相談しやすい体制や相談の機会を十分に設けていたか。				
	8 学校は、保護者・児童の不安や悩み、困りごとなどの早期発見や迅速な対応に努めていたか。				
学校関係者 評価者 による意見	○挨拶は中学校でも重点課題として取り組んでいるので、小中連携の面でも一貫していて助かります。				

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況		自己評価の適切さ	改善策の適切さ
健やかな体の育成	9 学校は、保健指導、食育等を通じた、健康への意識を高める取組をしっかりと行っていたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「命の学習」を始めとする養護教諭による保健指導、栄養教諭による食指導などを実施し心と体の健康への意識を高めた。次年度も継続して取り組んでいく。</li> <li>・「跳び箱運動週間」や「マット運動週間」、「なわとび体操」など、子どもたちの体力づくりを目的とした取組を積極的に行うことで、進んで体を動かそうとする見子どもたちが増えた。次年度も、体づくりの場を今年度同様に設定し、仲間と共に体を動かす機会の充実を図っていく。</li> </ul>	A	A
	10 学校は、体を動かす機会や場を工夫して、子どもたちの体力向上に努めていたか。				
	11 学校は、子どもたちが休み時間にグラウンドや体育館で体を動かすよう努めていたか。				
学校関係者 評価者 による意見	○特になし。				
信頼される学校	12 学校は、登下校や学校生活において、子どもたちの安全・安心の確保に努めていたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域の方による登下校時の見守りやパトロール、スクールゾーン実行委員会の開催、防犯教室など、子どもたちの安全や防犯に対する取組を年間通して実施することで、児童の安全や安心の確保に努めることができた。次年度も保護者や地域と連携し、今年度の取組を継続していくことで、児童の安全・安心への確保に努めたい。</li> <li>・「すぐー」での学校だより等の配信やホームページで学校の様子を伝えることを通して、子どもたちの様子や教育活動について、保護者や地域へ発信していくよう努めた。次年度も、すぐー等を活用し本校の教育活動についてよりわかりやすく伝えていく。</li> </ul>	A	A
	13 学校は、教育活動について、お便りやメール、ホームページ等わかりやすく伝えていたか。				
学校関係者 評価者 による意見	○特になし。				
子どもの発達の支援	14 学校は、普段から、子どもたちが「自分で考え判断し、決めて行動する(=自律する)」ように支援しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や児童会活動、学級会、係活動など、自ら考え判断し、行動する場を設定し子どもたちの自律を促すよう教師が働きかけた。次年度もそのような場の設定や教師の働きかけの工夫と改善を図っていききたい。</li> <li>・学習や生活の場面で、子どもたちが失敗してもやり直せるよう、教師が支援に努めた。今後も、教師の適切な支援を大切にしていきたい。</li> <li>・日常的に、お互いによく話し合うような場を設定するとともに、必要に応じて教師が支援を行った。</li> <li>・ネットモラルについては、学校での指導だけではなく家庭との連携や協力を求めて定着を図ってきた。今後も、家庭との連携を継続していきたい。</li> </ul>	A	A
	15 学校は、普段から、子どもたちが失敗しても、やり直せるような支援をしているか。				
	16 学校は、普段から、友達と考え方や意見が異なったときは、よく話し合うように支援しているか。				
	17 学校は、スマートフォンやタブレット、インターネットの使い方や情報モラル等について適切な指導を行ったか。				
学校関係者 評価者 による意見	○特別な配慮が必要な子どもに関わって、連携をより密にするような場を大切にしたい。				